

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
理気剤 降気剤 10		
ちょうこうしていとう 丁香柿蒂湯	温中益気・降逆止呃	丁香 6g・柿蒂 6g・人参 3g・生姜 6g 水煎し服用する。
証因脈治	<主治> 胃虚寒、失和降 吃逆が止まらない、胸が痞える、食欲不振、舌質が淡、舌苔が白滑、脈が沈遅などを呈す。 <病機> 慢性病などにより陽気が衰少し、胃腸が虚した状態である。 胃腸が虚したために、胃気が和降できずに上逆し吃逆（呃逆）が止まらず胸が痞える。胃気が不足している ので食欲がない。舌質が淡、舌苔が白滑、脈が沈遅は、虚寒を示す。 <方意> 温中降逆により止呃する。 温胃行滞の丁香と、温渋止呃の柿蒂が主薬で、益気養胃の人参と温胃降逆の生姜が補助し、胃寒を除き胃気 を補益して降逆止呃する。 <参考> 気鬱痰滯を伴えば、陳皮・沈香・半夏などを加える。	
していとう 柿蒂湯		丁香 6g・柿蒂 6g・生姜 6g (丁香柿蒂湯 — 人参) に相当する。
金匱要略	本方（柿蒂湯）は、丁香柿蒂湯の人参を除いたもので、胃気不足がない胃寒の呃逆（しゃっくり）に適する。	
しせんさん 柿錢散		丁香 6g・柿蒂 6g・人参 3g (丁香柿蒂湯 — 生姜) に相当する。
潔古家診	本方（柿錢散）は、丁香柿蒂湯の生姜を除いたもので、胃寒が甚だしくない場合に適する。	